



特別管理産業廃棄物処理計画作成（変更）報告書

2023年 6 月 21 日

（宛先）

埼玉県 西部環境管理事務所長 様

報告者 東京都板橋区志村1丁目11番1号  
凸版印刷株式会社  
情報コミュニケーション事業本部  
情報系製造統括本部長 高瀬 智之  
（電話番号 048-482-1614）

年度の特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成（変更）したので、埼玉県生活環境保全条例第20条第2項前段（後段）の規定により、次のとおり報告します。

事業場の名称	凸版印刷株式会社 朝霞工場
事業場の所在地	埼玉県新座市野火止7-21-33
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
変更の概要	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	印刷・同関連業
② 事業の規模	年生産額26,653百万円
③ 従業員数	1,213人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(別紙の通り)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】（別紙の通り）		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) (別紙の通り)		
② 計画	【目標（2023年度）】（別紙の通り）		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) (別紙の通り)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (別紙の通り)
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (別紙の通り)

## (第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

④ 計画	【目標 (2023年度)】 (別紙の通り)		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  (別紙の通り)		
※事務処理欄			

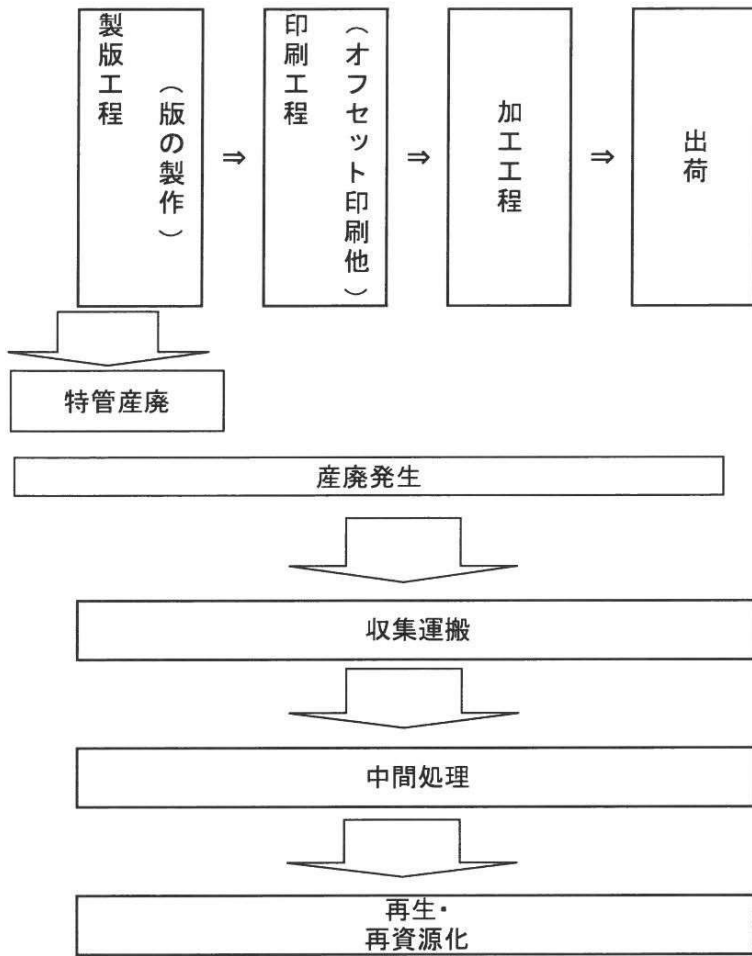
(第6面)

備考

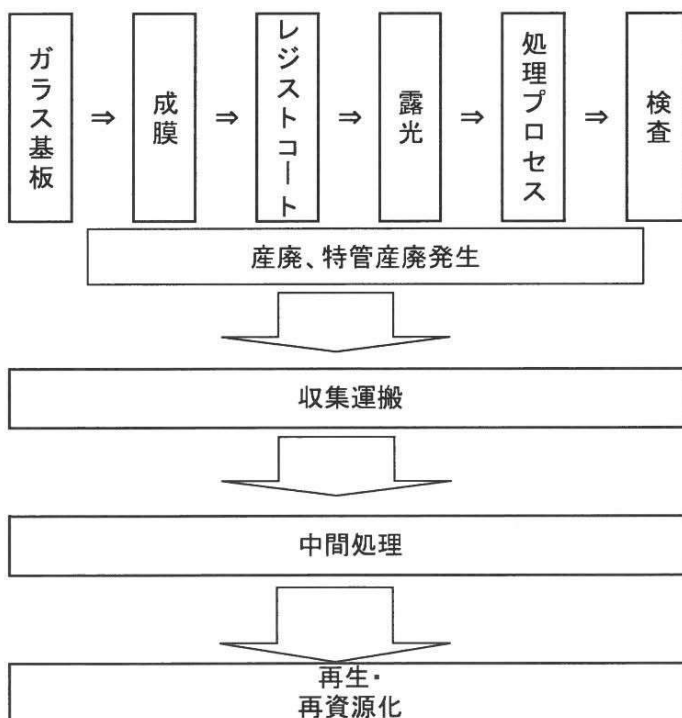
- 1 「変更の概要」の欄は、変更の報告の場合に記載することとし、その記載に当たっては、変更した部分について変更前及び変更後の内容の概要を対照させること。
- 2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記載すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記載すること。
  - (2) ②欄には、製造業における製造品出荷額（前年度実績）、建設業における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関における病床数（前年度末時点）等、業種に応じて事業規模が分かるような前年度の実績を記載すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記載すること。
- 3 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量及び、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記載すること。
- 4 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記載するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の1第2号に該当する者）への処理委託量、再生利用業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項の認定を受けた者）への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記載すること。
- 5 それぞれの欄に記載すべき事項の全てを記載することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記載すべき事項がないときは、「―」を記載すること。
- 6 ※欄印の欄には、記載しないこと。
- 7 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

(特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程)

【印刷部門】

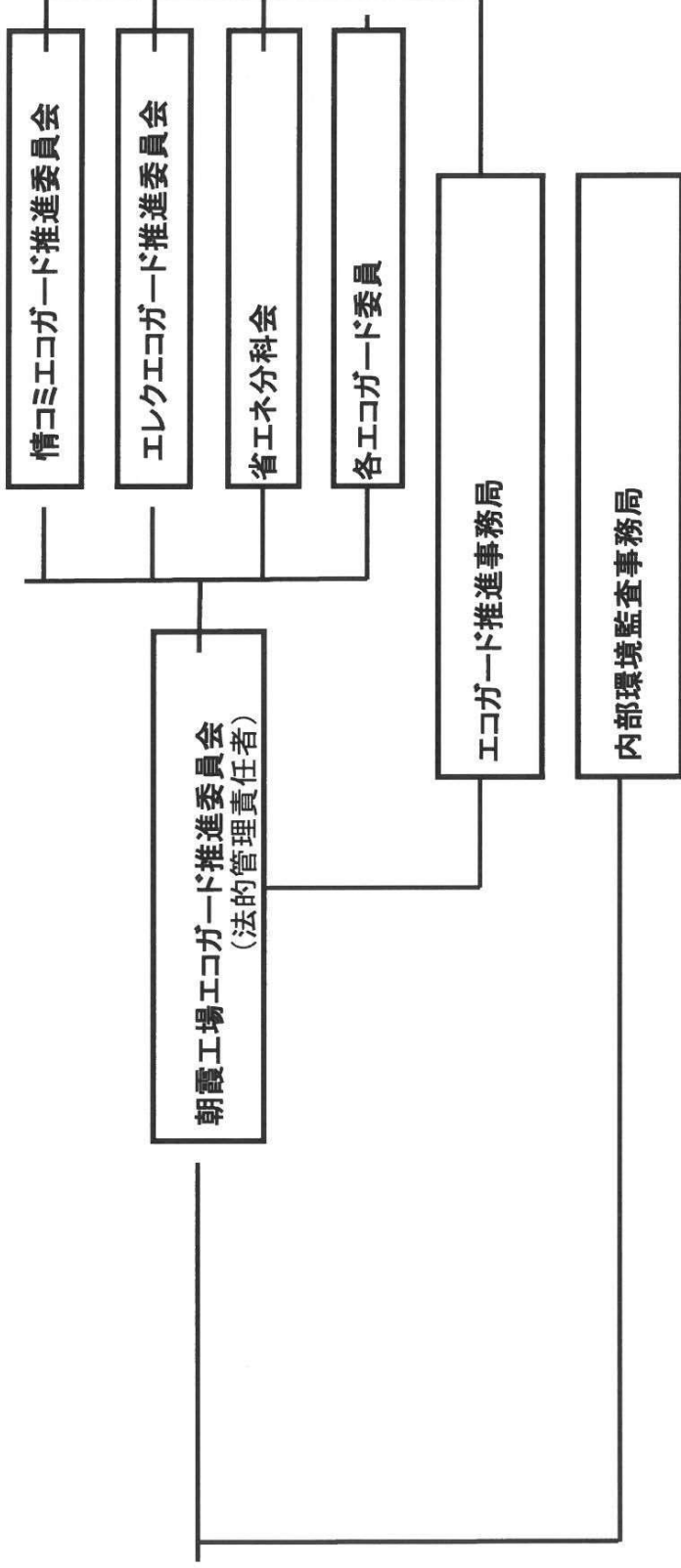


【フォトマスク部門】



(管理体制)

# 朝霞工場環境マネジメント組織図





(特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項)

	【前年度(2022年度)実績】	【目標(2023年度)】
産業廃棄物の種類	排出量[t]	排出量[t]
強酸	0.38	0.36
強アルカリ	0.00	0.00
廃酸(有害)	9.54	9.06
引火性廃油	0.01	0.01
水銀使用製品	0.00006	0.00006
廃水銀	0.00	0.00
廃油(有害)	0.00	0.00
汚泥(有害)	0.01	0.01
廃アルカリ	0.78	0.74
合計	10.72	10.18

現状(これまでに実施した取組)

- ・EMS活動による目標設定と実績のフォロー
- ・工程改善による廃棄物発生量の削減活動
- ・管理職、一般職、新入社員及び各階級の教育、啓蒙
- ・外部環境情報の入手と社内紹介継続

計画(今後実施する予定の取組み)

- ・より一層のEMS活動による目標設定と実績のフォロー
- ・より一層の工程改善による廃棄物発生量の削減活動
- ・管理職、一般職、新入社員及び各階級の教育、啓蒙の継続
- ・外部環境情報の入手と社内紹介の継続

(特別管理産業廃棄物の分別に関する事項)

現状(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

分別している産業廃棄物の種類	分別に関する取組み
強酸 廃酸(有害) 引火性廃油 廃アルカリ 水銀使用製品	新入社員、転入者教育と周知 廃棄物の危険性教育

計画(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

今後分別する予定の産業廃棄物の種類	分別に関する取組
特になし	特になし

## 排出する廃棄物の種類

発生源	廃棄物	詳細
印刷	紙くず	損紙、耳紙、包装紙、段ボール
	金属くず	廃版、インキ缶、溶剤缶
	廃プラスチック類	ラップ、PPバンド
	汚泥	紙粉、ブロッキング防止パウダー
	廃油	インキ残さ、油付きウエス、機械廃油 等
	廃酸	クロム含有廃液
	強酸	製版廃液、試薬 等
	木屑	廃パレット
フォトマスク製造	廃プラ	薬品容器、ガラス基板用ケース
	ガラス屑	ガラス基板、薬品ビン
	金属くず	アルミフレーム
	引火性廃油	廃溶剤 等
	廃酸	廃硫酸、廃硫酸過水、等
	廃アルカリ	水酸化カリウム、アンモニア水 等
	廃有害汚泥	試薬等
排水処理	汚泥	無機性汚泥、等
	金属くず	一斗缶 等

網掛け：特別管理産業廃棄物

(特別産業廃棄物の処理の委託に関する事項)

【前年度(2022年度)実績】〔①現状〕

特別管理産業廃棄物の種類	全処理委託量 [t]	優良認定処理業者への処理委託量 [t]	再生利用業者への処理委託量 [t]	認定熱回収業者への処理委託量 [t]	認定熱回収業者以外の熱回収を行うへ処理委託
強酸	0.38	0.38	0.38		
強アルカリ	0.00	0.00	0.00		
廃酸(有害)	9.54	9.54	9.54		
引火性廃油	0.01	0.01	0.01		
水銀使用製品	0.00006	0.00006	0.00006		
廃水銀	0.00	0.00	0.00		
廃油(有害)	0.00	0.00	0.00		
汚泥(有害)	0.01	0.01	0.01		
廃アルカリ	0.78	0.78	0.78		

これまでに実施した取組

- ・ 環境方針、目的・目標の設定
- ・ 廃棄物処理業者施設情報の入手、定期的処理状況の視察
- ・ 管理職、一般職、新入社員及び各階級の教育、啓蒙
- ・ 外部環境情報の入手と社内紹介

【目標(2023年度)】〔②計画〕

特別管理産業廃棄物の種類	全処理委託量 [t]	優良認定処理業者への処理委託量 [t]	再生利用業者への処理委託量 [t]	認定熱回収業者への処理委託量 [t]	認定熱回収業者以外の熱回収を行うへ処理委託
強酸	0.36	0.36	0.36		
強アルカリ	0.00	0.00	0.00		
廃酸(有害)	9.06	9.06	9.06		
引火性廃油	0.01	0.01	0.01		
水銀使用製品	0.00006	0.00006	0.00006		
廃水銀	0.00	0.0000	0.0000		
廃油(有害)	0.00	0.00	0.00		
汚泥(有害)	0.01	0.01	0.01		
廃アルカリ	0.74	0.74	0.74		

今後実施する予定の取り組み

- ・ 環境方針、目的・目標の設定
- ・ 処理施設情報の入手、定期的処理状況の視察
- ・ 管理職、一般職、新入社員及び各階級の教育、啓蒙
- ・ 外部環境情報の入手と社内情報の水平紹介